

第50回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和3年8月27日（金） 11:30～

場所：401 会議室

【協議事項】

防災監：これより、対策本部会議を開催する。昨日の会議では、緊急事態宣言中の貸館施設における取扱いを決定したところだが、本日は小中学校の取扱いについて、協議していく。詳細については教育委員会より説明を。

教育部長：保護者向けの発出文書について、校長会、教育委員会にて協議し、案を作成した。2点あり、まずは、市長・教育長で発出する文書について説明する。内容は、9月12日までの緊急事態宣言について、学びの保障の観点から、夏休み等の延長は行わず、万全な感染対策を講じた上で予定通り9月1日より通常登校とする。

1. 健康管理について

- ・観察カードを用いて健康状態の確認
- ・体調不良時の登校見合わせ
- ・マスクについて登下校及び体育の授業では着用しないが、それ以外の活動では着用

2. 学習指導の環境設備について

- ・3密防止
- ・給食におけるの黙食

3. 中学校の部活動について

- ・部活動は原則中止

4. 家庭で留意して欲しいこと

- ・濃厚接触認定時の学校への連絡

5. その他

- ・登校を控えたいご家庭は、オンラインでの対応も可能

もう一点の文書については学校長名で発出するもの。出席停止に関しては、権限が学校長にあるため。県の例を参考にして、9月1日に子どもを通じて各家庭に配布予定。市長と教育長から発出する文書は保護者あてのメール、HPに本日付けで発出したいと考えている。

防災監：以上が学校について報告。なにか意見はあるか。（特になし）

子育て監：この内容が問題なければ、犬山幼稚園にも出したい。

防災監：他に何か意見はあるか

市長：内容は問題ない。細かい話だが、文書について。市長、教育長連名の文書について、夏休み延長等の対応はせず、万全の感染予防対策を行って、通常登校とするところがあるが、夏季休暇の延長をしないという点をあえて強調する必要はない。

中学校の部活動について、緊急事態宣言中とはということだが、12日以降の延長も含めて、今後の運用についてある程度幅を持たせた発出でないと、今後の対応が難しくなる。当面の間などの言い回しを使った方がよいのではないか。

高木主幹：まん延防止については、国や県も行っていいという判断のため、原則、緊急事態宣言中という言い回しとしている。

教育長：当面の間として表現を見直す。

市長：その他について、重要な内容が含まれているため、全体の中に埋もれてしまっているが、下線を引くなりして、読む方の印象に残るようにしてほしい。これは、学校のHPとなっているが、市のHPでも出すということでもいいか。

防災監：市からもHPで出す。

子育て監：子ども未来園と児童クラブは開設していたので、同様に開設する旨を保護者にメールするがよいか。

副市長：前回発出時には、できるだけ自宅で見られるように依頼する内容が入っていたが、今回は抜くように。

子育て監：児童センターは閉める。

防災監：そのほかはよいか。

経営部長：最近、不織布マスクを推奨している。強制はできないが、そういった旨の啓発もいれていいのではないか。

副市長：市民に対しては、そこまで言う必要はないのではないか。

別件だが、1年ぶりに公共施設を臨時休業した。施設管理等の委託業務について、昨年の春は緊急的な対応のため、対応が後手に回っていたが、今回も長引く可能性があるため、施設の維持管理をどうするのか、それによって委託料金をどうするのか等について必ず委託業者等と調整・協議すること。

防災監：では、今報告のあった形で文書通知などを行っていくこととする。以上で会議を終了する。